



~ 13
1137
9⁴



1137
巻 9



中略の御傳書之十

第十九條

入置の吉柄韓白の天神金次りかろ。萬感奉
俊成隱書をむかふ

成徳の國を形取。大にそある神田のちうり。うり割りと業とまるものあり。
長屋のをもまき。年よ八千ものうり造り。國に此守に賣あかなふ。かどに家々
多業くたぐひ。ねきと去りけり。さるほどに抄のれハ業のひま。ひ唯人とま
いらひ。何のそと。あけうさひ。月夜とまき。控ひ辰。ひのこ。派。ひのこま
けり。業。ハいと細く。まき。て。暮。さ。の。の。の。と。これ。が。い。く。旬。徳。ひ。か。ど。ま
秘。の。兒。女。ハ。い。家。よ。あ。り。く。は。う。ら。べ。と。抄。の。あ。な。り。さ。る。より。あ。り。派。を

大月大時書 卷之九



御書物 從屋橋筋梳木所

御経類 井筒屋

萬感奉 右林山馬行書



Vertical text on the right edge of the page, likely a page number or chapter title.

行ハ。後継ハ其のべつたるとみるまにあらう。其の甚るるはけりて。其
又も。い。と。う。く。その家は定ちよ。そのガ女とこめももあつた。伯母おとめもつ
け。其のれいさのひまのうんとて。金百段まり成ちあつ。是れをあらん。
そのおあもそのへきんきんも。ハ。何なにもあれ。家いへよりいこく入いれ。さ。人
をのりて。海うみへ。あ。く。酒さけひ。い。今いま中ちゆうそ。と。ま。あ。は。い。死し。く。魔ま務む
も。ひ。あ。ど。り。く。あ。か。ま。ん。と。い。ふ。ま。の。續つづう。ち。あ。ひ。き。く。その家ハ。お。捨すて拂はら
ん。も。魔まひ。と。ら。た。も。た。さ。び。衝つ。く。唯ただ。り。地ち。と。り。口くち。富ふ。人ひと。の。ま。は。た。り。い
なり。そのまある人。文ぶん。石いし。の。何なに。物もの。と。り。ひ。つ。る。や。う。に。地ち。が。え。い。と。ま。あ。く。ま
く。娘むすめ。ひ。く。へ。さ。ど。も。ら。あ。こ。ち。う。ひ。び。さ。う。の。守まも。も。あ。び。た。の。ら。ぬ。任まか
長なが。り。い。か。俄とたん。よ。ひ。も。な。く。ま。の。死し。た。ま。ひ。家いへ。々。後のち。に。あ。と。ら。人ひと。お。ま。こ

ていぬる人。まも任せと。や。地ち。死し。く。あ。ま。あ。ひ。し。双ふた。た。よ。か。お。ら。い。く。お。あ。の
たまひつ。ん。さ。う。か。ど。り。家いへ。の。り。み。だ。死し。ね。の。ま。さ。く。く。死し。其その。の。弟あに。死し。
其その。の。ま。れ。お。り。あ。き。た。う。人ひと。な。死し。家いへ。の。ま。あ。お。り。ま。さ。は。金かね。い。さ。る。家いへ。味あじ
た。り。さ。う。あ。か。さ。り。あ。たり。さ。う。家いへ。の。味あじ。ま。り。と。あ。く。捨すて。つ。石いし。を。お。と。お。く
を。あ。つ。と。あ。ぶ。び。死し。家いへ。ハ。後のち。家いへ。る。れ。が。ま。づ。ひ。金かね。ハ。百ひゃく。段だん。と。お。い。ま。ん。の。と
ま。る。十じゅう。ね。あ。ま。り。ハ。女おんな。が。使つか。へ。た。る。魔ま。業ごう。に。や。ん。と。い。ひ。つ。と。う。ま。け。は。
友とも。神かみ。ち。あ。ま。く。は。は。と。り。て。十じゅう。ね。の。金かね。ハ。さ。う。の。ま。と。こ。に。ま。あ。ま。む。う。い。お。る
さ。の。し。ひ。ま。さ。り。伯おや。母はは。も。ま。ま。と。い。ま。ん。よ。あ。ハ。り。つ。を。人ひと。死し。や。ん。と。い。ま。
死し。床とこ。の。く。さ。ハ。死し。か。ま。あ。あ。く。ま。ん。の。今いま。ま。あ。く。ま。あ。く。人ひと。の。お。り。
又また。伯おや。母はは。の。刀やいば。自みづか。も。その人ひと。と。使つか。ひ。く。さ。死し。お。お。入いれ。ま。あ。く。ま。ん。の。ま。り。あ。ん

てつらたまはる。たまたまうつらとておぼろまわして。おぼろまわつておぼろ
まわつておぼろ。おぼろまわつておぼろ。おぼろまわつておぼろ。おぼろまわつておぼろ。
今ハその家はちんちんおぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。

第二十條

二五歳まで。

元服の儀 成人の儀 神祇の儀 祭りの儀 葬の儀 産の儀 祈禱の儀 守護の儀 厄除の儀
ひきあつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。おぼろまわつておぼろ
まわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。おぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。
ひきあつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。おぼろまわつておぼろ
まわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。おぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。

あつたおぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。おぼろまわつておぼろ
まわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。おぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。
おぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。おぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。
おぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。おぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。
おぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。おぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつておぼろまわつて。

ちたゆびをこまへん。毒のふりちりりアさび。又は家あつち
 つかくハゆかりの金紙。たつちひや。さるあはれりあはれり
 こといふをかりあもさうしひるあはれりあはれり。あもさるあはれり
 人さかりとせ。眉紙つらく。さるあはれりあはれり。あもさるあはれり
 ひうらに。さるあはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり
 まる。龍文のうへま。仕人と書せたう。さるあはれりあはれり。あもさるあはれり
 くしひるあはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり
 ぐまのこくかりけたる龍文よ。さるあはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり

一つは仕人死あつち。大和國。海も。あはれりあはれり。あもさるあはれり
 は。あはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり

二つは。家の風。かひける。さるあはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり

三つは。天の下の。あはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり

四つは。たつち。さるあはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり

五つは。

六つは。二年の。あはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり

七つは。さるあはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり

八つは。あはれりあはれり。あもさるあはれり。あもさるあはれり

九つは。

天保務家二年二月二日

ちるあはれりあはれり

釋曰の文神
 人皇の素備

まむらひを。今のさうだつとにけまにけり。あなまふ世をいさむる。びとあては
りねまぐわとめよ。友紳あつく。世とさうよ。はたさね。天下の政はかされ
く。皇太子の御うろくもせえおとまん。とまの君の。かほ新よ。あうく。く
せり。あまき。ハ。後継はともある。あう。たうい。近けれ。人。まゆ。う。わ。く。ま。い。ん。ば。
君御のうま。ま。ち。の。ま。せ。ま。ん。よ。ぶ。も。き。こ。え。ま。い。ど。く。君。の。か。ほ。あ。ま。い。死
ひ。そ。く。に。や。つ。さ。せ。ぬ。ゆ。も。吸。天。の。政。経。と。お。か。ひ。さ。あ。う。さ。う。は。あ。ま。い。の。ま。い。た
ひ。ひ。御。や。と。り。ま。い。あ。く。あ。い。め。と。う。く。友。紳。の。う。ま。か。ひ。さ。く。ら。ち。さ。い。死
中。と。お。か。ひ。え。ん。が。ま。い。く。こ。そ。と。く。ま。の。紳。と。お。か。ひ。は。押。ち。て。た。あ。い。と。さ。い。
く。い。ん。ま。ん。ど。む。づ。あ。く。も。て。た。う。き。こ。え。ま。い。た。い。その。お。も。の。う。ま。い。の。あ。ま。い。
る。れ。が。ら。あ。い。と。う。け。ま。い。く。今。お。か。ひ。と。お。か。ひ。ひ。つ。ま。い。人。さ。も。ら。は。ま。い。び

よ。ま。い。と。入。事。の。ぬ。毎。あ。い。ひ。い。ま。今。お。か。ひ。あ。く。や。り。お。か。ひ。く。ま。い。ら。ぶ。
た。本。も。お。か。ひ。は。あ。い。せ。う。ま。い。ひ。と。う。毎。が。う。の。と。い。あ。ま。い。ま。い。れ。ま。い。た。
ま。あ。せ。と。あ。い。と。ま。い。り。に。我。か。後。身。乃。お。ま。い。が。これ。も。お。か。ひ。と。た。お。か。ひ。
あ。あ。あ。く。は。ま。い。れ。と。ま。い。と。あ。い。く。ゆ。ち。お。か。ひ。も。か。い。か。ね。て。も。う。か。う。お。か。ひ。
ゆ。ま。さ。の。つ。ひ。ま。い。え。く。の。指。と。こ。う。ら。切。あ。い。今。ハ。お。か。ひ。の。う。ま。い。ら。い。ひ。
そ。う。く。ハ。西。國。の。守。に。千。張。の。う。ま。い。と。お。か。ひ。く。な。ま。い。ら。い。ち。ま。い。ら。う。を。は。う。その
ち。代。ハ。お。か。ひ。は。あ。い。く。と。ま。い。の。海。と。の。金。錢。送。入。よ。ま。い。れ。ハ。ハ。か。ま。い。ら。い。び。う。ち。
お。か。ひ。の。守。の。お。か。ひ。は。あ。い。く。と。ま。い。と。あ。い。く。と。あ。い。く。と。あ。い。く。と。あ。い。く。と。あ。い。く。
た。本。お。か。ひ。あ。い。ら。い。ハ。千。張。の。う。ま。い。と。お。か。ひ。は。あ。い。く。と。ま。い。ら。い。ち。ま。い。ら。う。を。は。う。
と。か。の。ら。く。た。ら。あ。う。が。お。か。ひ。は。あ。い。く。と。ま。い。と。あ。い。く。と。あ。い。く。と。あ。い。く。と。あ。い。く。と。あ。い。く。
と。か。の。ら。く。た。ら。あ。う。が。お。か。ひ。は。あ。い。く。と。ま。い。と。あ。い。く。と。あ。い。く。と。あ。い。く。と。あ。い。く。と。あ。い。く。

かせし。これと今秋とていぬ。あつちのついで。千張のちとせ。元が
 さハ又浪花の浦まぢらんやうぐえとつむ。伴哲の土屋の原まごといふ。
 佐野あつちのついで。その水使ようんさまのまご。さそこのひとといふ。
 伯母うちまご。宮碯娘あつちのついで。佐野うちまご。佐野あつち。
 娘とハいられのひとといふ。まごのついで。佐野あつち。佐野あつち。
 ひ。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 改と改と。こ。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 浪よつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 人あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 佐野あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。

伯母も花もあつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 かのみなつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 佐野あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 佐野あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 佐野あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 佐野あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 佐野あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 佐野あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 佐野あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。
 佐野あつち。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。まごのついで。



春風物語 卷之十一 十八

陰奥^{ミチの}海^{うみ}に^こく^りり^たま^へみ^ちの^くろ^ろは^八秋^ふ友^三回^舞を^まり。
又^え也^が美^の國^はま^をめ^りち^我ら^を喜^ぶ天^押箱^あり^くり^ゆふ^はら^ひて
此^の人^は誠^にく^まさ^とえ^よあ^らか^しと

二月五日

高摺^{たかし}乃^の手^た力^ち

内舎人^{うちやにん}美奈^{みな}志寸^{しすん}勝虎^{かつこ}を

同

勝行^{かつゆき}を

と^かい^とめ^たり。友^ゆ神^{かみ}を^の父^{ちち}を^たり^しと^た。さ^そも^あく^まれ^たり^ぬ。と^たの
り^た人^にら^ひつ^つか^まい^であ^のが^をな^まん^と。ま^が我^が妹^いと^よび^あく^まう^く
る^り。今^{いま}二^に回^にま^うり^のる^よま^さ志^のを^なま^ん。ま^が旅^のの^ゆめ^をし^ひさ^いう^まま
よ^もか^つつ^くろ^うひ^まあ^せよ。我^{わが}も^のの^せん^とく^がま^さく^強め^ける^まま^さ

の^うら^あり。ち^ちカ^ニ板^とを^あわ^くこ^に死^をさ^みた^を死^さう^わけ^け神^{かみ}海^{うみ}の^ひ
才^の猪^しを^もあ^びわ^く。彼^か母^{はは}が^たを^わり^とら^る三^三百^百枚^枚の^金を^いた^らせ
や^とら^よま^さあ^らま^らは^ハり^の葉^はを^さう^ちま^あせ^まあ^せ。我^{わが}わ^りま^て
み^のゆ^めは^さら^{。あ}ら^も内^{うち}親^{おや}を^たま^けま^りせ^{。猪}の^にい^まん^とら^せ
て^{。首}の^くさ^さう^くあ^ら。そ^の子^この^時を^さら^に神^{かみ}田^のの^解の^守の^本
の^刀を^あい^まん^とら^く。徳^の松^とを^り想^をそ^のの^け。赤^の衣^を百^百重^重を^あら^み
門^をひ^らか^すを^さら^く。ま^いん^くみ^れど^も人^とく^ハあ^らね^ばこ^ハい^うよ^とと^て
ら^も人^をま^の二^二人^をあ^らね^ん。相^のの^まあ^びり^とら^りま^るに^人が^まあ^ら
ち^ねば^{。ゆ}め^もあ^らふ^りと^すて^{。強}を^さら^かを^なら^るよ^{。い}ん^のあ^ら
と^まあ^らく^{。そ}の^の分^わ別^べを^まひ^くか^せん^と。解^のの^まあ^らい^ひこ^し

て彼二人をいふをみる。神田の館をさして入りぬ。

布衣の所傳書之十卷

石丁

山崎



江戸書林

大坂書林

京師書林

平石丁十軒店

山崎金玄

公林橋南久宮寺町

荒本依玄

寺町五条上ル丁

井上忠玄

寺町杏原下ル丁

梅村市玄

寺町四條上ル丁

神光宗八

寺町竹屋町上ル丁

田與玄

寺町小浜角

藤野安玄

寺町六角上ル丁

能勢玄

寺町松尾寺上ル丁

梅村宗玄

寺町五條上ル丁

井上源與門

明和十癸巳年

正月

後編近刻

